

地域	東京都渋谷区	認定日	平成30年2月9日	3-29-294
事業分類	情報通信	テーマ分類	その他(社会基盤)	

事業名: AI技術と仮想地域通貨による過疎地高齢者生活支援サービスネットワークの実現

○事業概要(新規性、市場性等)

過疎地域では買い物・交通弱者対策が急務である。本事業では基礎自治体、民間企業と連携し、過疎地高齢者に対してAI技術を活用した御用聞きアプリケーションによる生活支援を行い、買い物・交通弱者の課題を解決する。具体的には、この御用聞きアプリケーションを利活用することでコミュニティバス、道の駅でのお買い物を実現する。

これらを達成するために、コア企業が持つAI技術、仮想地域通貨技術を活用し、連携企業がCATVに用いる光ケーブルネットワーク、Wi-Fi等ネットワーク網を提供する。最終的には過疎地高齢者でも、気軽に、便利に、リーズナブルに利用可能な生活支援サービスAIプラットフォームの完成を目指す。生活支援に関しては、コア企業、連携企業に加え、複数の過疎地域に基礎自治体やNPO、官公庁が出資する道の駅運営企業などとも協力し、お買い物支援、認知症検知などを実現する。

事業推進体制

技術支援

大阪大学 石黒研究室

はこだて未来大学 松原研究室

京都府立医科大学

久留米大学医学部

富山大学

フィールド提供・導入

京都府、南山城村

三好市(徳島県)

配送提供

(株)南山城(京都府南山城村)

社会福祉法人 池田博愛会
(徳島県三好市)

資金・リソース支援

TIS(株)/OUVC

連携体の構成

ビジネスモデル・コア技術

コア企業:株式会社エルブズ (東京都渋谷区)

- ビジネスモデル構築
- 知財管理
- AIコア技術
- システム開発
- 販路開拓

地域への普及促進

連携企業:株式会社池田ケーブルネットワーク (徳島県三好市)

- 三好市市内 光ネットワーク網
- 1万2千世帯へCATV、光ネットワーク網を提供

支援予定メニュー

- ①補助金
- ②投資育成会社による出資
- ③特許料減免



AIによる生活支援を行い、過疎地高齢者の課題を解決する。

